

## 自殺未遂者対応研修会

【実施主体】 埼玉県熊谷市

### 【概要】

自殺企図を繰り返さないように、地域において医療・救急・行政等、関係機関との連携を図りながら自殺未遂者を支援していくために、自殺予防対策連絡協議会の構成員が所属する組織のスタッフを対象に、自殺者の心理と背景、その対応について学ぶ機会を設けた。

### 【大綱の分類】

2. 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す
4. 自殺対策に係る人材の確保、養成及び資質の向上を図る
8. 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ

### 【政策パッケージ分類】

- 基1) 地域におけるネットワークの強化
- 基2) 自殺対策を支える人材の育成
- 基3) 住民への啓発と周知
- 基4-1) 居場所づくり
- 基4-2) 自殺未遂者等への支援
- 基4-3) 遺された人への支援
- 基5) 児童生徒のSOSの出し方に関する教育
- 重1) 子ども・若者
- 重2) 勤務・経営
- 重3) 生活困窮者
- 重4) 無職者・失業者
- 重5) 高齢者
- 重6) ハイリスク地
- 重7) 震災等被災地
- 重8) 自殺手段
- その他 (いずれにも該当しない、妊産婦、マイノリティ等)

【事業実施年度】 2021年

【事業予算】 ¥15,600

### 【利点】

- ▼自殺未遂者への対応・支援方法を学ぶことによって、適切な援助・支援につなげることができる。
- ▼自殺未遂者対応研修会をとおして、協議会に属する外部団体や内部の関係課と連携が図れる。

### 【実施に至るまで】

#### 背景・必要性・理由の概要

- ①熊谷市の自殺死亡率は、19.98（2015～2020年の5年間平均値）と高い。また、2020年の自殺者数のうち、17.5%が自殺未遂経験者が多い。
- ②熊谷市第2次自殺対策計画の第4章基本施策の4生きることの促進要因の支援として自殺念慮や自殺未遂の相談に対し、関係機関と連携し支援にあたることを目指す。熊谷市自殺

予防対策連絡協議会構成員の所属するスタッフを対象とすることで自殺未遂者の心理を学び、今後の協議会委員と連携体制を構築する機会の一つとなる。

**事業計画を立てる上での工夫**

- ①顔の見える関係づくりのために、実務者を対象とした。
- ②死にたいという人へどう関わったらよいか、相談を受けた後またはそのような事例に遭遇したときの援助者のメンタルヘルスについても内容に盛り込んだ。
- ③新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、講義形式とした。
- ④視聴覚教材を用いて事例を取り上げた講義とし質問応答を通して参加者の理解を深めた。

**事業の具体的な内容**

▼自殺未遂者対応研修会

- ・対象者：熊谷市自殺予防対策連絡協議会委員の所属するスタッフ
- ・目的：自殺企図を繰り返さないように、関係機関との連携を図りながら自殺未遂者を支援していく。
- ・内容：「自殺未遂者の心理と背景とその対応について」（60分）  
講師：公認心理師、臨床心理士  
質疑応答（10分）
- ・期待される効果：自殺未遂者への対応、支援方法を学ぶことによって、適切な援助支援につなげることができ、また関係機関との連携が図れる。

▼常日頃から業務に従事する中で、自殺未遂者に接する機会が比較的多いと想定される従事者を選定する中で、熊谷市自殺予防対策連絡協議会委員の所属するスタッフが適当と判断し依頼文を通知した。

▼自殺願望や自殺企図といった言葉の理解など初歩的なことも含め、外部講師の経験を通して事例について理解を深めたり、医療者以外でも理解できる漫画や本の紹介を行った。

**【成果】**

- ▼アンケートにおいて「相談業務に生かせる」と回答した人の割合が目標値の6割を超え概ね好評であった。
- ▼今後希望する内容について尋ねたところ、「具体的な事例を知る」と回答した人の割合が37.5%と関心の高さを伺わせた。

**【補足】**

▼特になし

**【課題】**

▼テーマ及び具体的事例を話すことができる講師の選定に苦慮している。

【事業種別】	自殺未遂者支援・連携体制構築
【準備期間】	180日
【人数】	3人（担当職員）
【人口規模】	194,542人（2021年4月1日現在住民基本台帳人口）
【財政規模】	¥66,300,000,000（2021年度一般会計当初予算）
【自治体負担率】	66%（補助金名：地域自殺対策強化交付金）
【事業対象】	自殺予防対策連絡協議会委員の所属する職員
【支援対象】	自殺念慮等を抱えている市民及びその家族
【委託の有無】	無
【実施主体・問合せ先】	TEL：048（526）5737 埼玉県熊谷市 市民部 熊谷保健センター Mail：k-hoken@city.kumagaya.lg.jp

**【参考資料・文献】**

特になし